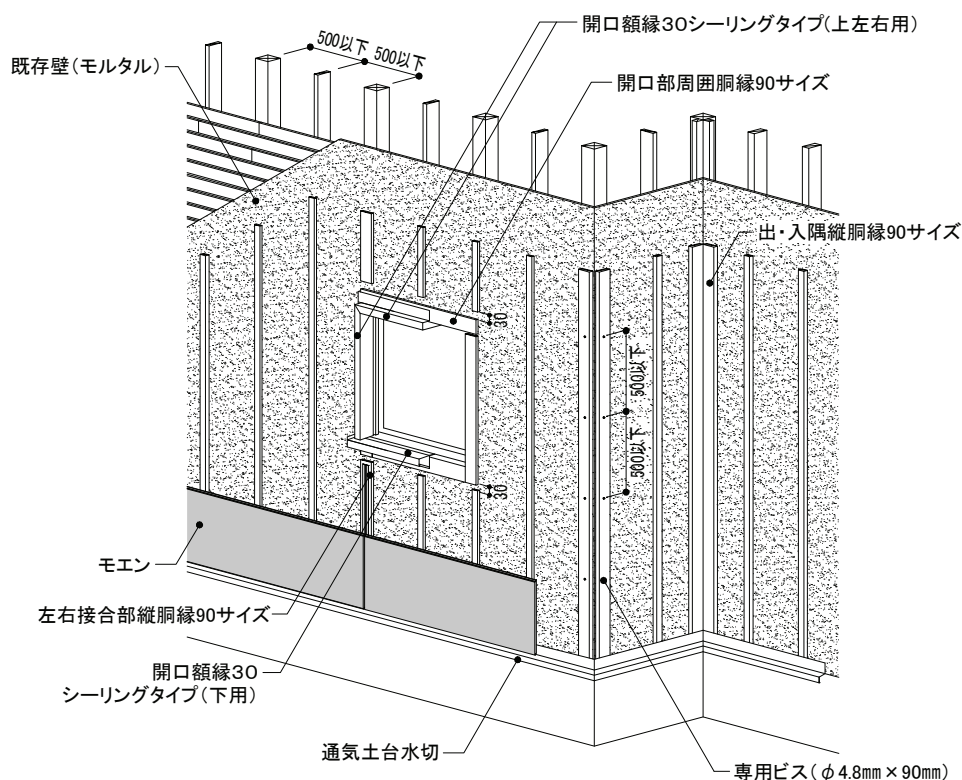


14mm厚品 <div> <div>M</div> <div>W</div> </div>	工 法	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	釘	横	縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図・下地組図

- 通気土台水切を胴縁に取り付けます。
- 木胴縁は、厚み30mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や左右接合部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm、または45mm幅2本組みとします。
- 木胴縁は、留め付ける前に既存のモルタル下地の不陸状態を確認し、不陸は不陸調整材などを用い、専用ビス(φ4.8mm×90mm)を使用して500mm以下の間隔で躯体に留め付けます。
(不陸調整方法:P36参照)
- 縦胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。